



TAKATSU NETWORK

医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2017年◆新春号(2017年1月発行)

Vol.56

季節の写真館 2017年元旦
“溝口神社”と福の神“おかめ様”



総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

2017年“新年のごあいさつ”

病院長 小林 進



明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は総合高津中央病院設立60周年を迎えた記念すべき年でした。

当院には「医療を通じて地域社会に貢献します」という理念があります。これは創立者で初代理事長、病院長の加藤守正氏が掲げた言葉です。年頭に当たり、この理念に沿って、病院運営を行っていくことを改めて決意したところです。

昨年3月には電子カルテを導入しました。導入当初は患者さんおよび職員の皆様に大変なご迷惑とご苦勞をおかけ致しましたが、およそ半年が経過した昨年後半からは外来診療、入院診療において効率的かつ安全な診療が行えるようになりました。その大きな特徴としてあげられるのは、医師、看護師等治療に携わる職員が患者さんの情報をタイムリーに共有できることです。これまで以上に正確な診断、的確な治療法の選択ができる環境が整い、診療の質の向上につながっています。さらに昨年は神奈川県

の指定を受けました。今後は微力ではありますが当地域における災害医療にも徐々に取り組んでまいりたいと思います。

一方、我が国における現在の急激な高齢化現象を考えると、これからの医療の特徴は高齢者に対する侵襲の少ない効率的な治療（血管内手術、鏡視下手術等）が主となるとともに、体力回復に向けた高齢者向けの質の高いリハビリテーションに積極的に取り組まなければならないと考えております。当院のリハビリ施設は現在は地下にありますが今年はこちらを1階に移設し、設備の充実を図りたいと考えております。退院支援の取り組みも3年前に立ち上げたPFM（Patient flow management：退院支援センター）が積極的に活動しており、これからは患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養、生活するための取り組みを推進していく所存です。

皆様方にご理解とさらなるご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



名前 田尻 治

卒業大学 聖マリアンナ医科大学

卒業年度 平成3年

専門領域 麻酔一般、小児麻酔

資格 日本麻酔科学会麻酔指導医

自己紹介 病院全体における、全身麻酔での手術・検査症例が安全に行えるように努力します。



名前 高田 直樹

卒業大学 東京慈恵会医科大学

卒業年度 平成23年

専門領域 下部消化管外科

資格 外科専門医

自己紹介 1月から赴任いたしました。よろしくお願ひいたします。



地域連携懇談会のご報告



加藤理事長

去る、10月28日（金）ホテルKSPにて、総合高津中央病院「地域医療連携懇談会」を開催しました。

今回は参加人数106名と昨年度同様多くのご出席を賜り盛大な会となりました。

本会は二部構成で開催されました。



小林病院長

【第一部 講演会】

はじめに、内分泌代謝内科部長の高橋医師による「2型糖尿病の薬物療法」についての講演が行われました。

2型糖尿病の治療法は食事・運動・薬物療法の3本柱で成り立っています。その中でも年々進化を遂げている「薬物療法」に焦点をあてた講演となりました。



中村副院長

講演では薬剤を選ぶポイントや投与のタイミングについて紹介がされ関心を集めておりました。具体的な薬剤名を挙げて、指導のポイントや副作用等注意点の説明があったため、とてもわかりやすかったというお言葉を数多く頂戴いたしました。コントロール不良で薬剤選択に悩む患者様、教育入院が必要な患者様がいらっしゃいましたら当院に是非ご紹介下さい。



←高橋内分泌代謝内科部長 ↓講演会の様子



【第二部 懇談会】

懇談会は、高津区医師会会長 鶴谷孝先生（つるや内科クリニック院長）によるご挨拶を賜り、先生の乾杯のご発声とともに開宴しました。

会が始まりお酒も入って和やかな雰囲気になってきた頃、当院の各科と医師の紹介を行いました。懇談の場では各所で活発な意見交換がなされておりました。開業医の先生方からの率直な意見に当院の医師からも「参加して良かった」といった声が聞かれました。

今後とも地域住民の身近にあり、24時間365日 子供から高齢者まで幅広く相談に応じることのできる総合的な医療の提供を目指し、院内外の連携をより一層図ってまいります。

末筆ながら、ご多忙にも関わらずご出席賜りました来賓の皆さまには心より御礼申し上げます。

今後とも総合高津中央病院をよろしくお願ひいたします。

医療連携課 大水友香



高津中央インフォメーション

キャンドルサービス

3東病棟 春田 やよい

看護部主催恒例行事のキャンドルサービスを、平成28年12月22日に行いました。

この時期に入院されている患者様、来院中の皆様に少しでもクリスマス気分を感じてもらえればと思い、12月から各セクションで計画し、実施させて頂きました。

当日は病棟看護師や医師だけではなく、高津看護専門学校の学生（2年生）も参加して、キャンドルを持ちながら、お花とカードを添え患者様の病室を訪問させて頂きました。

患者さまより、変装したサンタ医師をみて「サンタさんだ！」と大変喜んでくださり、「感動した」と言って頂きました。私達も変装した甲斐があり大変嬉しく、笑顔で楽しいひと時を過ごすことができ、感謝しております。

来年もまた、入院された患者さまの癒しとパワーになれるよう、サンタ姿でたくさんの笑顔

をお届けしたいと思えます。



糖尿病教室開催のお知らせ

平成28年度第3回の糖尿病教室は4回シリーズで11月に開催されました。運動療法の実演や、たくさんの質疑応答があり充実した内容でした。

そして2月には、第4回目の糖尿病教室が下記の日程にて開催されます。今回食事療養は“食事療養を美味しく！楽しく！”をテーマに食事会（ワンコインランチ・バイキング方式）を企画しております。旬の食材を使用したお料理を予定しております。血糖値の気になる方、療養中の方、ぜひ一度糖尿病教室へいらっしやいませんか。私たち糖尿病教室開催チームがサポートいたします。

2月4日・18日・25日 14:00～15:30

- ・2月4日（糖尿病の診断と治療）
- ・2月18日（お薬について 糖尿病の検査）
- ・2月25日（日常生活について 運動療法について）

※3月4日食事会
（ワンコインランチ）
12:30～
（予約制・参加費500円）



TEL044-822-6133 栄養部（安田・河野）

♪川崎フロンターレ クリスマス慰問に 来院していただきました～♪

先月、12月16日に川崎フロンターレの選手が当院小児病棟にクリスマス慰問に来院して頂きました。

選手の慰問活動とは、怪我や病気で入院している子供達を勇気付ける為に、川崎市の各病院を1997年より毎年行われているイベントです。当院には2001年が初回の慰問があり今年で5回目の慰問になります。今年の来院した選手は、狩野健太選手（MF25）です。柏レイソルから完全移籍し現在大活躍中の選手です。

前日から、選手歓迎の為職員総出で準備をしました。今年は人形劇を行ってくれるとの事なので子供達と職員も楽しみにしていました。

いよいよ当日です。選手とスタッフが2名とトナカイにふんしたフロンタ君そして人形劇団の2名の方が来院しました。狩野選手は緊張した様子でしたが、控室で病院長と会話をし少し緊張が解けてきた様子でした。

そして、待ちにまつ病棟へのクリスマス慰問の時間になりました。病棟は選手が登場

するなり「カッコイイ～」と狩野選手に黄色い声援が飛び交い

子供達も大人も大興奮、さっそく楽しみにしていた人形劇が始まり子供達は人形に釘付け状態に、クイズもあって皆楽しそうでした。そして♪クリスマスソング♪を皆で合唱をしました。初めは、照れていたせいか声が小さかったけれど最後は皆元気いっぱい歌っていました。そして、狩野選手からのプレゼントを配る時間になり子供達は目を輝かせてプレゼントを貰っていました。会に参加出来なかった子供達にも直接プレゼントを配って頂きました。

最後に、狩野選手から「看護師さんの言う事をよく聞いて頑張るね」と応援のメッセージを貰って、皆で記念写真を撮り無事クリスマス慰問が終了しました。

短い時間でしたが子供達と大人まで盛り上がる楽しい会になりました。狩野選手・スタッフの皆様ありがとうございました。次回の訪問を楽しみにしております。

庶務課 森田勇二



こどものそけいヘルニアについて

小児外科 医師 平松 友雅

この度、小児外科外来を開設させていただきました。「小児外科」は、お子さんの病気の中でも主に手術によって治療する必要のある病気を対象としています。当院では、小児外科疾患であっても一般的な病気は地域で完結できるように、と考え小児外科外来を開くこととなりました。

小児外科で治療する病気の中で多いものの一つにそけいヘルニア（脱腸、だっちょう）があります。20人に1人の病気と言われているので、クラスに1、2人はいるようなとても一般的な病気です。多くは赤ちゃんから幼児の頃に起こるもので、そけい部（足の付け根）がぷっくりとふくれる病気です。男の子では陰嚢が大きくなる、という症状で気付かれる子もいます。このふくらみの正体は、お腹の中の臓器（腸のことが多い）です。そけいヘルニアはお腹の中の内臓を包む袋である腹膜の一部が足の付け根から生まれつき飛び出している状態で、この飛び出した袋の中に腸が入り込み、ふくらみができます。入り込んだ腸は自然に引っ込むこともありますが、放っておくと腸が戻らなくなって緊急手術が必要になることもあります（へ

ルニアかんとん）。そのため、そけいヘルニアを認めた場合は大事に至る前に手術で治す必要があります。当院では腹腔鏡（内視鏡）を用いて目立たない傷で治す方法を行って



っており、1泊2日の入院で治療が可能です。もしお子さんの足の付け根にそけいヘルニアを疑うようなふくらみがあるようでしたら、おかけの小児科の先生に相談していただくか、当院へ直接いらしていただいても構いません。小さいヘルニアの場合、検診で初めて指摘されることもあるかと思います。現在は月に1回（第4水曜日午後）のみの外来となっておりますので、受診の際は事前にご確認ください。

他に扱う疾患には、睾丸が袋の中に降りてこない停留精巣、臍ヘルニア（でべそ）、その他体表や肛門付近のできものなど、幅広く対応しています。このような疾患で手術が必要な場合、多くは1泊2日で対応可能です。より複雑な症例については大学病院と連携をとってスムーズにご紹介できるように対応させていただきます。

個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

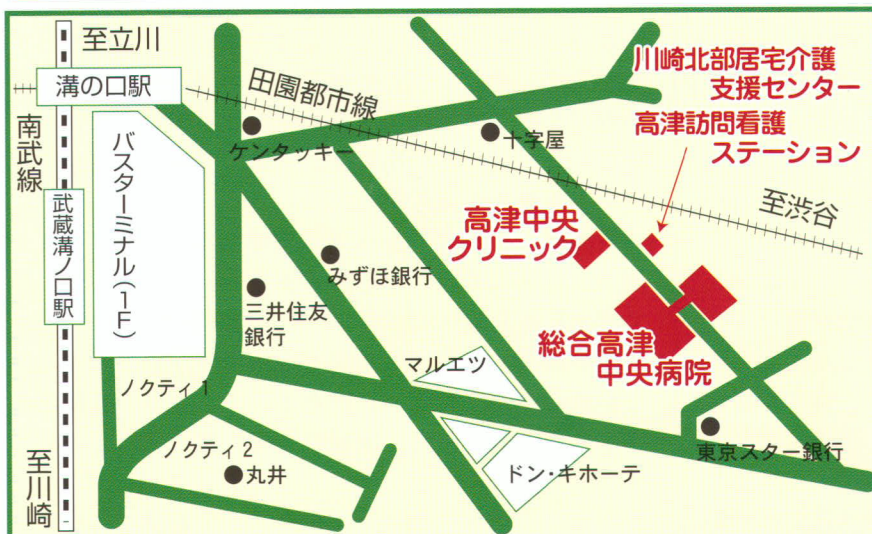
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

▶ 高津中央クリニック（健診）

川崎市高津区溝口1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

▶ 川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5
TEL (044) 822-6159 (代)

▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1
TEL (044) 822-1287 (代)